

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	FROM PROJECT 上田
事業主体 (連絡先)	信州上田 高校生 活性化委員会 (080-3602-6821 代表 藤原)
事業区分	(3) 教育、文化、スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,289,721 円 (うち支援金: 962,000 円)

事業内容

将来の地域社会の発展を担う人材育成には、高度な能力を修得することと同時に、地域発展に向けて協働できる大人たちと繋がりを作り出す点に課題がある。

よって、本事業では、上小地域の高校生を対象にした地域リーダー育成プログラムを、1期11回のワークショップ+プロジェクトの成果発表会1回×2期分開催した。いずれの回も上田高校や、まちなかキャンパス上田で開催し、学校の先生をはじめ、多くの大人の方々が高校生のプロジェクトの支援や、相談に乗った。

プロジェクトの成果発表会では、上小地域でご活躍されている方々が各プロジェクトを評価し、地域発展に向けたプロジェクトの次へのステップを提示した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

参加した高校生は、例えば企業が学生に留学費用を支援するという新たな留学プログラムを作るプロジェクトや、音楽を通じて地域の中で世代間の交流を促進するイベントを行うプロジェクトなどを生み出し、いずれも地域に対し、新たな価値を提供した。

それらのイベントには地域の大人が参加し、様々な世代での交流が生まれ、しかもその主役が高校生であるという、どの街でも見られる大人主催のイベントとは違った、新たな地域活性化のモデルが見られた。

また、新聞にイベントの様子が掲載されるなど、社会的なインパクトも残した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後はさらに長野県全域で本事業を行なっていく。本年度の事業によって高校との連携が生まれたことで学校教育の場に、本事業のような社会との関わりや探求を深める場を作ることができるだろう。それらも視野に入れつつ、本事業を通してより多くの高校生が長野を好きになり、活性化させるためのプロジェクトを動かせる場をこれからも作り続けていく。



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①参加高校生が地域活性化のために行動する
- ②参加高校生が地域に存在するリソースを知り、それらを活かす。
- ③長野県における高校生の主体的な教育に対する視座を上げる。

※自己評価【 B 】

【理由】参加高校生の成長や地域への影響はあったが、中学生の巻き込み不足だったことや、企業の理解が想定以上に得られなかったことから、「B」となった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある